

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア

コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 北角浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	553	161.7	9	—	1	—	△30	—
24年3月期第1四半期	211	△28.1	△50	—	△51	—	△41	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △47百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △51百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△1,433.85	—
24年3月期第1四半期	△1,980.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	2,085	1,136	54.5	53,670.16
24年3月期	2,001	1,184	59.2	56,199.50

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 1,136百万円 24年3月期 1,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	200.00	200.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	200.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	959	△18.9	△132	—	△138	—	△122	—	△5,789.07
通期	2,712	10.2	57	△82.1	45	△86.1	18	△91.2	898.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 有 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	21,463 株	24年3月期	21,375 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	290 株	24年3月期	290 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	21,131 株	24年3月期1Q	21,080 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景に緩やかな景気回復が見られたものの、欧州の政府債務危機等、景気の先行きには未だ不透明感が残っております。

当社グループが属するゲーム業界におきましては、当年6月に、新ハードウェアであるWii Uの製品仕様の発表が行われました。また、同月末にはニンテンドー3DS LLも発表され、ハードウェア市場の期待が高まっております。

コンシューマゲーム業界では、新ハードウェアであるPlayStation Vita及びニンテンドー3DSの需要が一段落し、ハードウェア市場においては、販売台数が前年同時期と同水準に推移しました。また、ソフトウェア市場に関しては大型タイトルが発売された影響を受け、前年同時期に比べて販売本数が増加いたしました。モバイルゲーム業界では、当年5月にソーシャルゲームにおけるコンプガチャの規制が決定された事等により、事業環境に変化が見られました。また、依然としてスマートフォン（高性能携帯電話）への買い替えは活発に行われており、その市場は拡大を続けております。アミューズメント業界では、「安・近・短」の身近なエンターテインメントとして、アミューズメント施設が消費者から見直されてきたことから、市場は回復基調に転じたものの、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、パッケージ事業では、主に20周年記念タイトルの開発に注力してまいりました。また、当第2四半期に開催されるイベントに向けて、新規グッズの製作等もいたしました。オンライン事業では、Android OS搭載のスマートフォン端末に向けたゲームアプリの配信を行うとともに、過去に当社で発売したタイトルのダウンロード版の配信等を行いました。ライセンス事業では、他社とコラボレーションしたソーシャルゲーム及びPC向けオンラインゲームの配信をいたしました。その他事業では、『うたの☆プリンスさまっ♪Debut』の受託開発や、カードショップ「プリニークラブ」の運営等を進めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高553,122千円（前年同期比161.7%）、営業利益9,293千円（前年同四半期は50,417千円の営業損失）、経常利益1,691千円（前年同四半期は51,116千円の経常損失）、四半期純損失30,298千円（前年同四半期は41,741千円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりです。

(パッケージ事業)

パッケージ事業におきましては、国内市場においては『絶対ヒーロー改造計画 PSP the Best』（PlayStation Portable専用ゲームソフト）、海外市場においては『Disgaea3: Absence of Detention』（邦題：『魔界戦記ディスガイア3 Return』、PlayStation Vita専用ゲームソフト）、『Atelier Meruru: The Apprentice of Arland』（邦題：『メルルのアトリエ〜アーランドの錬金術師3〜』、PlayStation3専用ゲームソフト）の計3タイトルを発売いたしました。

また、当社は2013年7月12日に設立20周年を迎えるにあたり、20周年記念タイトルである『特殊報道部』（PlayStation Vita専用ゲームソフト）及び『神様と運命革命のパラドクス』をはじめとした多くのタイトルの発売を予定しており、その開発に注力してまいりました。

グッズの製作・販売につきましては、当社ホームページでの通信販売サイトにおけるキャンペーンを展開し、既存顧客の満足度の向上に努めました。また、新規顧客の獲得に向けて、当第2四半期に開催される「最強Vジャンプフェスタ2012」、「秋葉原電気外祭り 2012 SUMMER in 新宿」といった国内の大型イベントへの出展準備を進めてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高425,435千円、営業利益4,221千円となりました。

(オンライン事業)

オンライン事業におきましては、Android OS搭載のスマートフォン端末に向けたゲームアプリ『無限魔界ディスガイア』の配信を行いました。また、PlayStation Networkにて、ダウンロードコンテンツの配信に加え、これまでに行っていなかったPlayStation3タイトルのダウンロード版の配信を行いました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高72,020千円、営業利益40,227千円となりました。

(ライセンス事業)

ライセンス事業におきましては、株式会社ドリコムとの共同事業としてGREE及びmixi向けソーシャルゲーム『ビックリマン』の配信をいたしました。また、株式会社ガマニアデジタルエンターテインメントとの共同事業としてPC向けオンラインゲーム『Webファントム・ブレイブ』の配信をいたしました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高27,921千円、営業利益20,565千円となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、当社が受託開発を行い、株式会社ブロッコリーから発売されました『うたの☆プリンスさまっ♪Debut』（PlayStation Portable専用ゲームソフト）が、好調に推移いたしました。また、当社のグッズやトレーディングカードを扱う「プリニークラブ」の運営等を進めてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高27,745千円、営業利益4,226千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,085,179千円となり、前連結会計年度末に比べ83,520千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末に比べ64,255千円の減少）、仕掛品の増加（前連結会計年度末に比べ、149,913千円の増加）等によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加（前連結会計年度末に比べ20,074千円の増加）等によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は948,821千円となり、前連結会計年度末に比べ132,128千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、短期借入金の増加（前連結会計年度末に比べ110,000千円の増加）、未払金の増加（前連結会計年度末に比べ30,288千円の増加）等によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の減少（前連結会計年度末に比べ10,002千円の減少）等によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,136,358千円となり、前連結会計年度末に比べ48,608千円の減少となりました。

主な純資産の増減は、利益剰余金の減少（前連結会計年度末に比べ34,115千円の減少）、為替換算調整勘定の減少（前連結会計年度末に比べ16,135千円の減少）等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間の業績は概ね当初の予想どおりに推移しており、平成24年3月期決算短信（平成24年5月11日付公表）において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

業績予想に関する留意事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料公表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。今後の経済情勢・市場の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績は業績予想と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、海外連結子会社については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	673,114	608,858
受取手形及び売掛金	231,808	232,649
商品及び製品	59,772	50,189
仕掛品	180,007	329,921
繰延税金資産	30,163	28,551
その他	40,746	31,498
貸倒引当金	△850	△850
流動資産合計	1,214,763	1,280,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	351,614	347,291
機械装置及び運搬具（純額）	7,372	6,612
土地	172,746	172,746
その他（純額）	38,943	42,379
有形固定資産合計	570,676	569,029
無形固定資産	11,892	11,008
投資その他の資産		
投資有価証券	177,768	197,843
その他	26,558	26,479
投資その他の資産合計	204,327	224,322
固定資産合計	786,896	804,360
資産合計	2,001,659	2,085,179

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	74,312	73,575
短期借入金	329,600	439,600
1年内返済予定の長期借入金	37,507	40,008
未払金	72,468	102,756
未払法人税等	25,529	12,356
賞与引当金	17,492	14,877
売上値引引当金	55,876	58,407
その他	39,791	51,294
流動負債合計	652,577	792,876
固定負債		
長期借入金	145,742	135,740
退職給付引当金	10,375	10,261
その他	7,997	9,943
固定負債合計	164,115	155,945
負債合計	816,692	948,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	244,062	245,602
資本剰余金	234,062	235,602
利益剰余金	805,589	771,473
自己株式	△16,870	△16,870
株主資本合計	1,266,843	1,235,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,644	6,207
為替換算調整勘定	△89,521	△105,656
その他の包括利益累計額合計	△81,877	△99,449
純資産合計	1,184,966	1,136,358
負債純資産合計	2,001,659	2,085,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	211,395	553,122
売上原価	74,551	288,532
売上総利益	136,843	264,589
販売費及び一般管理費	187,261	255,296
営業利益又は営業損失(△)	△50,417	9,293
営業外収益		
受取利息	895	201
受取配当金	639	502
その他	913	450
営業外収益合計	2,448	1,155
営業外費用		
支払利息	1,386	1,184
為替差損	1,760	7,572
営業外費用合計	3,146	8,757
経常利益又は経常損失(△)	△51,116	1,691
特別利益		
固定資産売却益	4	—
特別利益合計	4	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△51,111	1,691
法人税等	△9,370	31,989
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△41,741	△30,298
四半期純損失(△)	△41,741	△30,298

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△41,741	△30,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	△1,436
為替換算調整勘定	△9,840	△16,135
その他の包括利益合計	△9,908	△17,571
四半期包括利益	△51,649	△47,869
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△51,649	△47,869
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

〔セグメント情報〕

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	125,825	38,774	19,120	27,674	211,395	—	211,395
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	125,825	38,774	19,120	27,674	211,395	—	211,395
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△34,384	25,930	16,376	△635	7,287	(57,705)	△50,417

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額57,705千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	425,435	72,020	27,921	27,745	553,122	—	553,122
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	425,435	72,020	27,921	27,745	553,122	—	553,122
セグメント利益	4,221	40,227	20,565	4,226	69,241	(59,947)	9,293

(注) 1. セグメント利益の調整額59,947千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。